

平成28年横浜港の港勢

入港船舶

		単位	28年	前年比	構成比	27年	前年比	構成比
総数	隻数	隻	35,677	99.2	100.0	35,979	99.4	100.0
	総トン数	総トン	291,795,408	102.5	100.0	284,555,233	102.8	100.0
外航船	隻数	隻	9,849	99.8	27.6	9,865	100.0	27.4
	総トン数	総トン	248,067,044	102.7	85.0	241,660,331	103.1	84.9
うち フルコンテナ船	隻数	隻	4,636	101.1	47.1	4,584	100.8	46.5
	総トン数	総トン	125,247,020	109.2	50.5	114,692,117	101.6	47.5
内航船	隻数	隻	25,828	98.9	72.4	26,114	99.2	72.6
	総トン数	総トン	43,728,364	101.9	15.0	42,894,902	101.6	15.1

海上出入貨物

		単位	28年	前年比	構成比	27年	前年比	構成比
総数	貨物量	トン	109,123,653	95.1	100.0	114,741,049	98.1	100.0
	うちコンテナ貨物量	トン	38,944,727	98.9	35.7	39,358,350	96.3	34.3
	コンテナ個数	TEU	2,780,670	99.8	100.0	2,787,296	96.8	100.0
外貨	計	トン	68,932,510	92.5	63.2	74,488,202	101.1	64.9
	輸出	トン	30,624,773	96.9	28.1	31,591,035	101.4	27.5
	輸入	トン	38,307,737	89.3	35.1	42,897,167	100.8	37.4
うち コンテナ貨物	計	トン	36,371,632	98.7	52.8	36,833,692	95.5	49.4
	輸出	トン	14,779,329	98.3	48.3	15,031,741	92.2	47.6
	輸入	トン	21,592,303	99.0	56.4	21,801,951	97.9	50.8
コンテナ個数	計	TEU	2,520,989	100.3	90.7	2,513,511	96.2	90.2
	輸出	TEU	1,327,320	99.8	47.7	1,330,019	95.6	47.7
	輸入	TEU	1,193,670	100.9	42.9	1,183,493	96.9	42.5
内貨	計	トン	40,191,143	99.8	36.8	40,252,847	92.9	35.1
	移出	トン	14,627,836	89.7	13.4	16,307,751	93.4	14.2
	移入	トン	25,563,307	106.8	23.4	23,945,096	92.6	20.9
うち コンテナ貨物	計	トン	2,573,095	101.9	6.4	2,524,658	110.5	6.3
	移出	トン	1,441,279	102.4	9.9	1,407,596	115.7	8.6
	移入	トン	1,131,816	101.3	4.4	1,117,062	104.5	4.7
コンテナ個数	計	TEU	259,681	94.8	9.3	273,785	102.1	9.8
	移出	TEU	112,173	98.7	4.0	113,698	110.3	4.1
	移入	TEU	147,508	92.1	5.3	160,087	96.9	5.7

(注) コンテナ個数は、実入・空の合計。

「うちコンテナ貨物」の構成比は、外貨又は内貨の貨物量に占めるコンテナ貨物の割合。

貿易額

		単位	28年	前年比	構成比	27年	前年比	構成比
合計		百万円	10,684,555	87.9	100.0	12,153,948	103.6	100.0
輸出		百万円	6,884,661	91.4	64.4	7,531,005	105.8	62.0
輸入		百万円	3,799,894	82.2	35.6	4,622,943	100.1	38.0

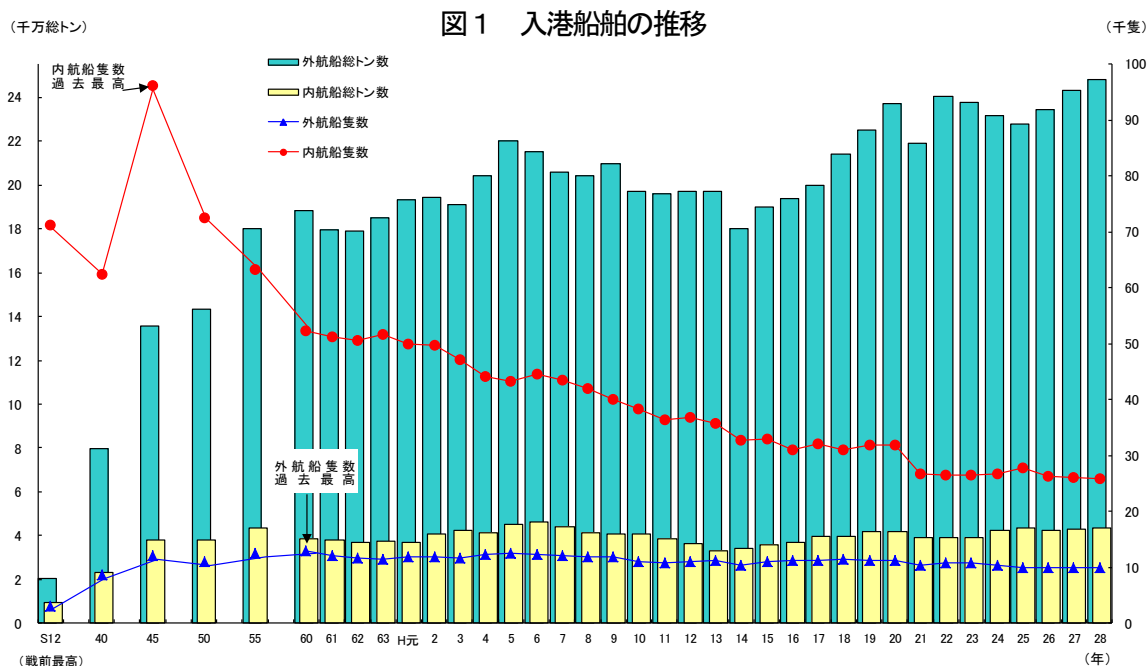
(注) 横浜税関資料による(確定値)。

平成28年の横浜港の総貨物量は1億912万トン(前年比4.9%減、以下増減%は前年比)でした。外貨貨物は、輸出3,062万トン(3.1%減)、輸入3,831万トン(10.7%減)といずれも減少しました。内貨貨物は移出が1,463万トン(10.3%減)でしたが、移入は原油、石炭などが前年比で10%を超える増加となり、2,556万トン(6.8%増)となりました。

コンテナ取扱個数は、外貨・内貨合計で278万TEU(0.2%減)と、前年に比べ微減となりました。

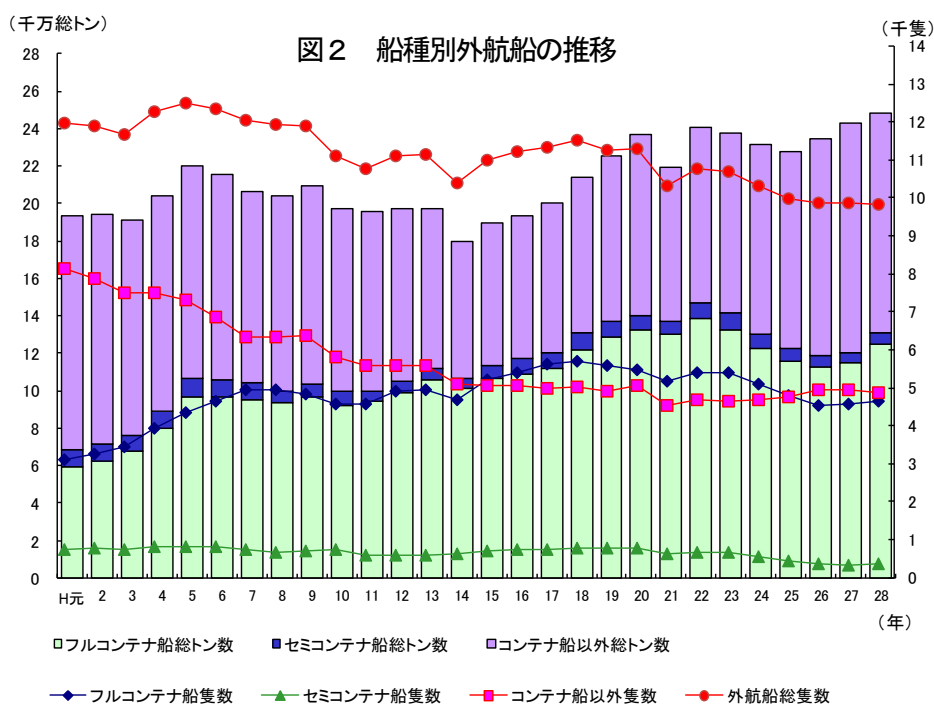
1 入港船舶【P 9】

入港隻数は外航・内航合計で3万5,677隻(0.8%減)で、微減となりました。総トン数は2億9,180万総トン(2.5%増)と、3年連続の増加で過去最高となりました。



外航船の入港隻数は9,849隻(0.2%減)、総トン数は2億4,807万総トン(2.7%増)と過去最高となりました。このうちフルコンテナ船は4,636隻(1.1%増)、総トン数は1億2,525万総トン(9.2%増)となっています。

内航船の入港隻数は2万5,828隻(1.1%減)、総トン数は4,373万総トン(1.9%増)となりました。

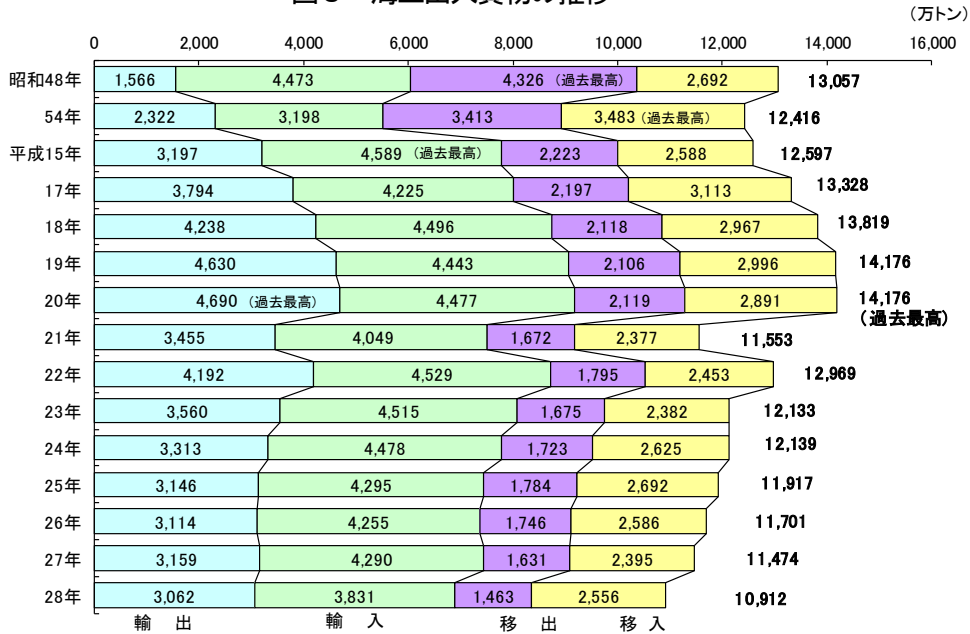


2 海上出入貨物

(1) 総貨物量 【P14、15】

総貨物量は1億912万トン(4.9%減)で、6年連続の減少となりました。そのうち外貨貨物量(輸出・輸入)は6,893万トン(7.5%減)、内貨貨物量(移出・移入)は4,019万トン(0.2%減)となりました。

図3 海上出入貨物の推移



(2) 輸出貨物 【P14~16】

輸出貨物量合計は3,062万トン(3.1%減)となりました。

品種別にみると、第1位の「完成自動車」は1,265万トン(4.1%減、構成比41.3%)、第2位の「自動車部品」は388万トン(13.2%減、構成比12.7%)、第3位の「産業機械」は258万トン(9.2%減、構成比8.4%)となりました。

国別にみると、第1位の中国は499万トン(3.9%減、構成比16.3%)と減少しましたが、完成自動車の取扱いが増加した第2位のアメリカ合衆国は271万トン(2.4%増、構成比8.9%)、第3位のオーストラリアは188万トン(5.6%増、構成比6.2%)と増加しました。

図4 主要品種別輸出貨物

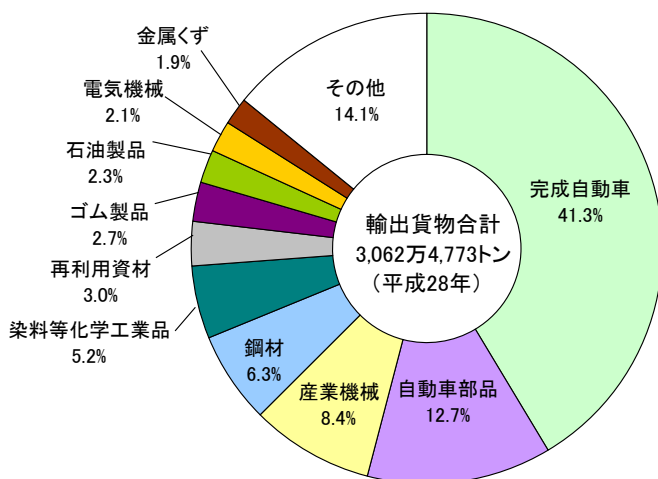
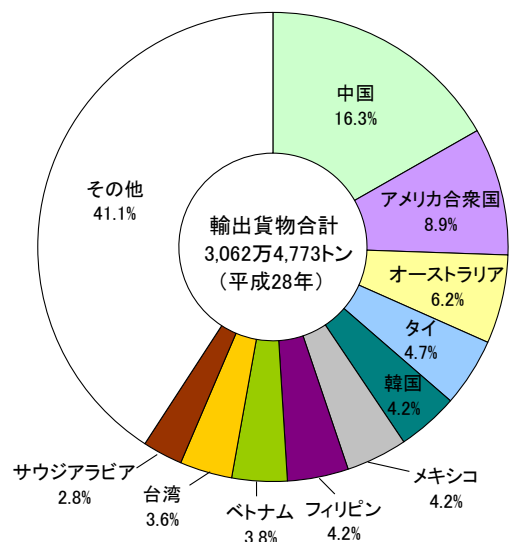


図5 主要国別輸出貨物



(3) 輸入貨物 【P14～16】

輸入貨物量合計は3,831万トン（10.7%減）となりました。

品種別にみると、第2位の「原油」は215万トン（64.7%減、構成比5.6%）と大幅に減少となったものの、第5位の「野菜・果物」は134万トン（21.5%増、構成比3.5%）と増加しました。

国別にみると、第2位のオーストラリアはLNGなどの増加により633万トン（1.7%増、構成比16.5%）でしたが、第5位のサウジアラビアは原油などの減少により173万トン（63.9%減、構成比4.5%）となり、前年より順位を落としています。

図6 主要品種別輸入貨物

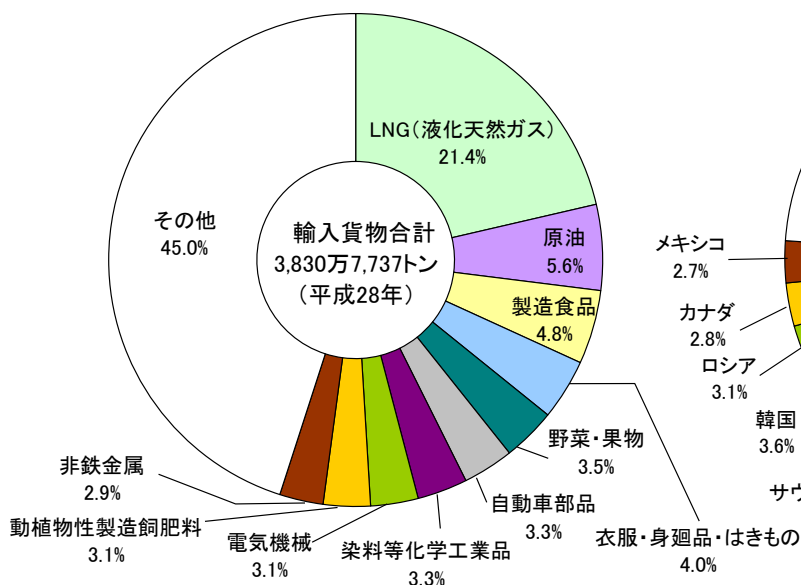
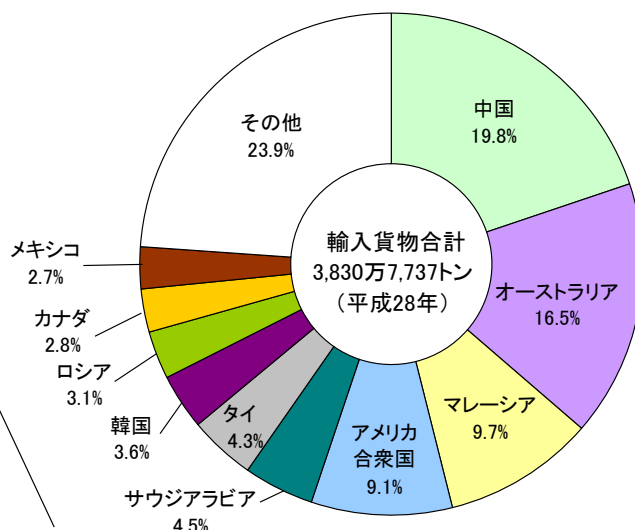


図7 主要国別輸入貨物



(4) 内貿貨物 【P14、15、18】

移出入貨物量合計は4,019万トン（0.2%減）で、そのうち移出は1,463万トン（10.3%減）と減少しましたが、移入は2,556万トン（6.8%増）となり、2年ぶりに増加しました。

品種別にみると、移出第1位の「石油製品」は432万トン（10.1%減、構成比29.5%）、移入第1位の「原油」は1,031万トン（14.2%増、構成比40.3%）となっています。

港別にみると、移出第1位の千葉港は341万トン（5.9%増、構成比23.3%）で「石油製品」の取扱いが最も多く、移入第1位の喜入港は1,028万トン（14.0%増、構成比40.2%）で「原油」のみの取扱いとなっています。

図8 主要品種別移出貨物

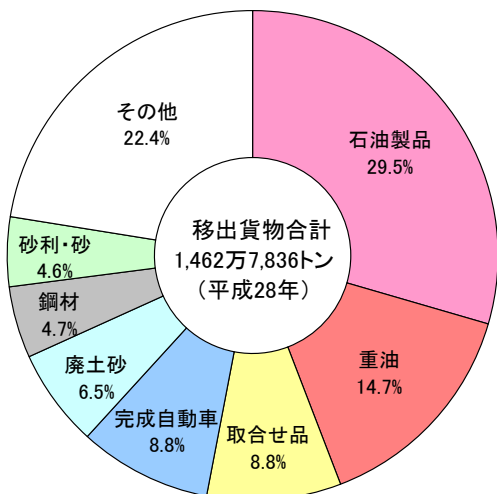


図9 主要港別移出貨物

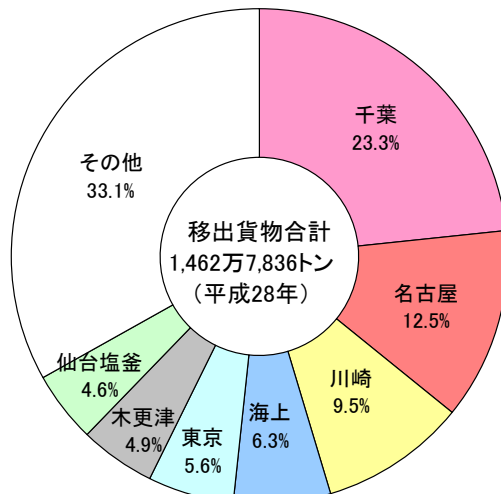


図10 主要品種別移入貨物

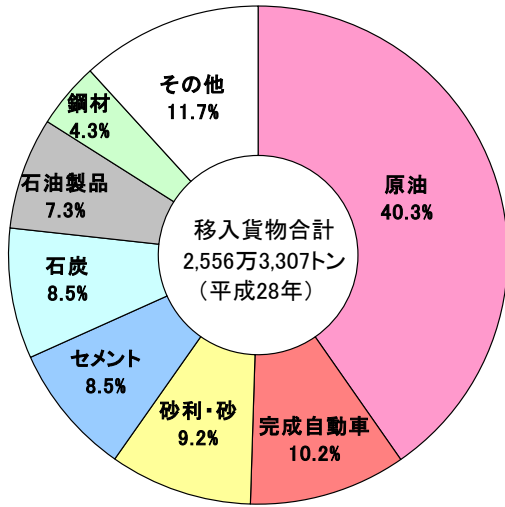
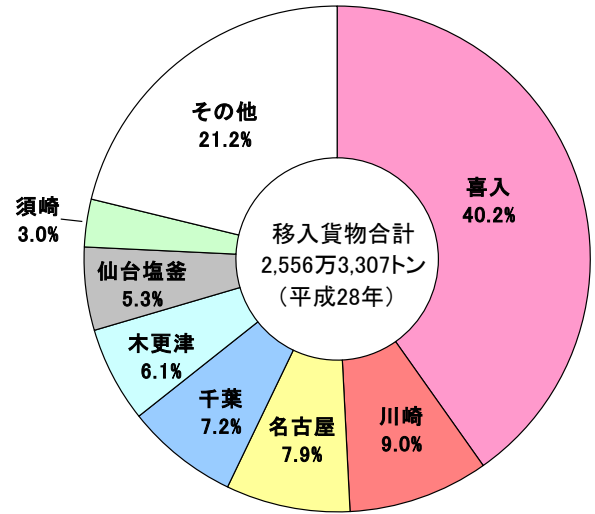


図11 主要港別移入貨物



(5) コンテナ貨物 【P14、15】

外貨コンテナ貨物量は、輸出が1,478万トン(1.7%減)、輸入が2,159万トン(1.0%減)、輸出・輸入合計では3,637万トン(1.3%減)で、6年連続の減少となりました。

外貨貨物全体に占めるコンテナ貨物の割合は52.8%となりました。

図12 外貨貨物量の推移

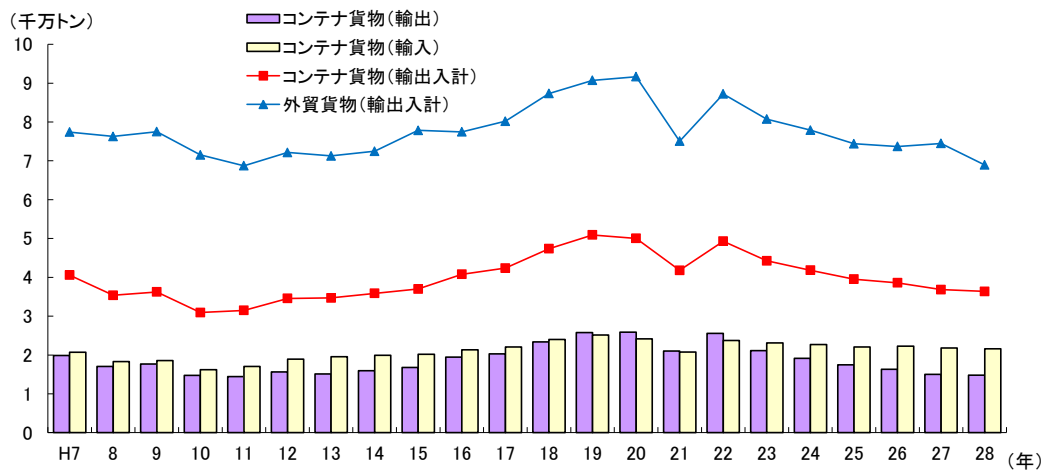
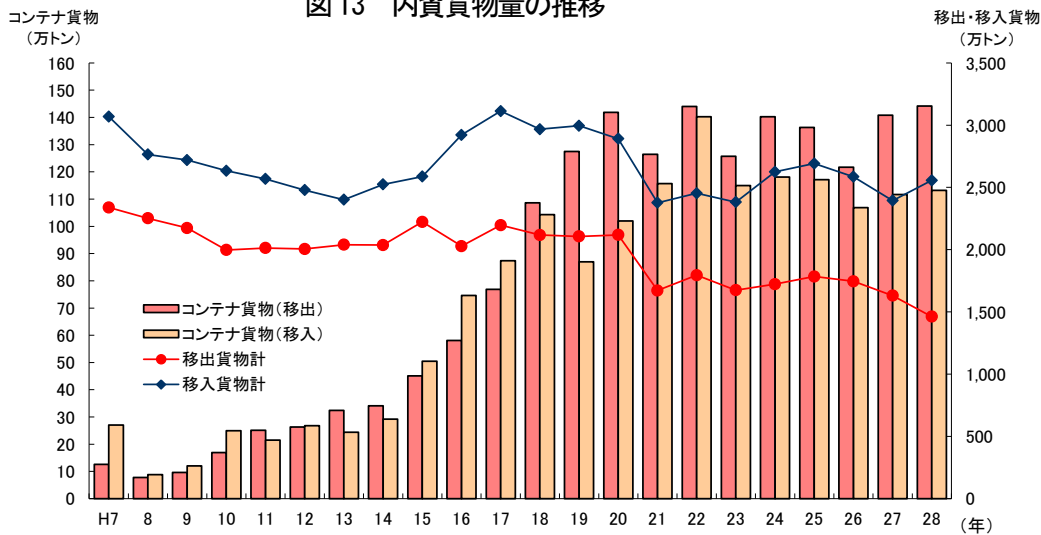


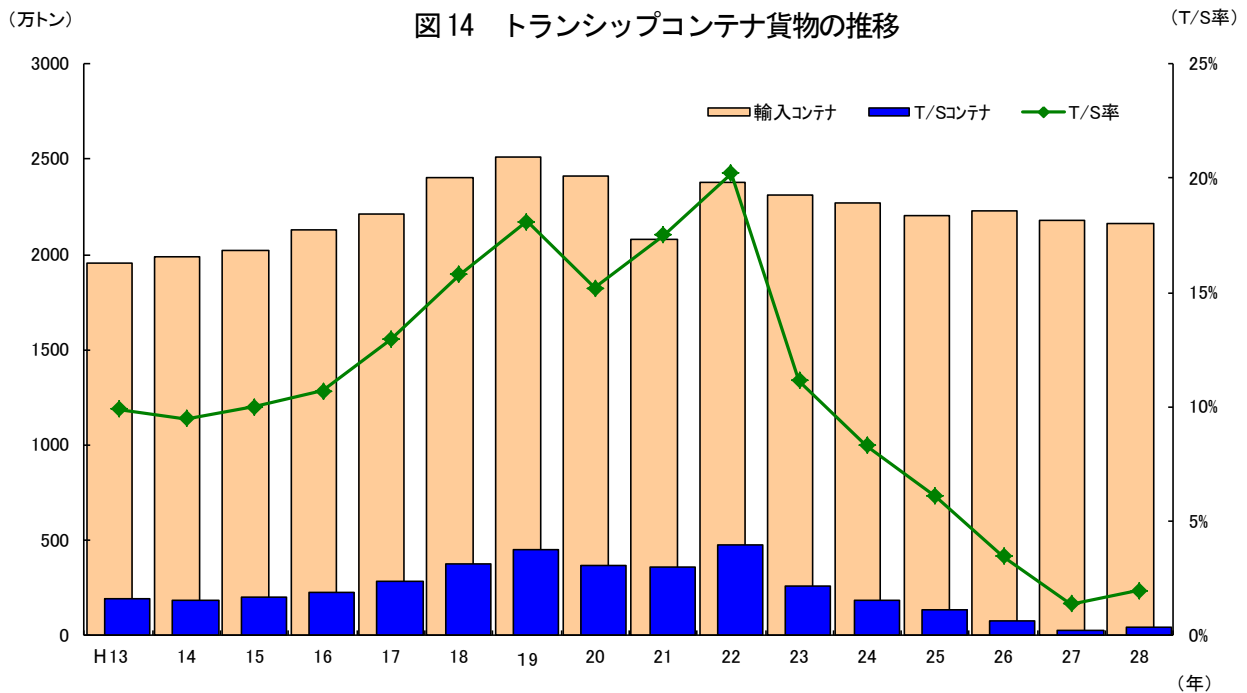
図13 内貨貨物量の推移



内貨コンテナ貨物量は、移出が144万トン(2.4%増)、移入が113万トン(1.3%増)、移出・移入合計では257万トン(1.9%増)で、2年連続の増加となりました。

(6) トランシップコンテナ貨物 【P26】

輸入コンテナ貨物のうち、横浜港で積み替えたトランシップコンテナ貨物量は43万トン、トランシップ率は2.0%で、6年ぶりの増加となりました。



(7) コンテナ個数 【P20~24, 48】

外貿・内貿合計は278万TEU (0.2%減) で、6年連続の減少となりましたが、下半期は堅調な回復をみせています。

外貿コンテナ個数は、輸出が133万TEU (0.2%減)、輸入が119万TEU (0.9%増)、輸出・輸入合計では252万TEU (0.3%増) で、2年ぶりの増加となりました。国別にみると、輸出では韓国、フィリピンなど、輸入ではオーストラリア、メキシコなどが2桁増となっています。

内貿コンテナ個数は、移出が11万TEU (1.3%減)、移入が15万TEU (7.9%減)、移出・移入合計では26万TEU (5.2%減) となりました。

図15 コンテナ個数の推移

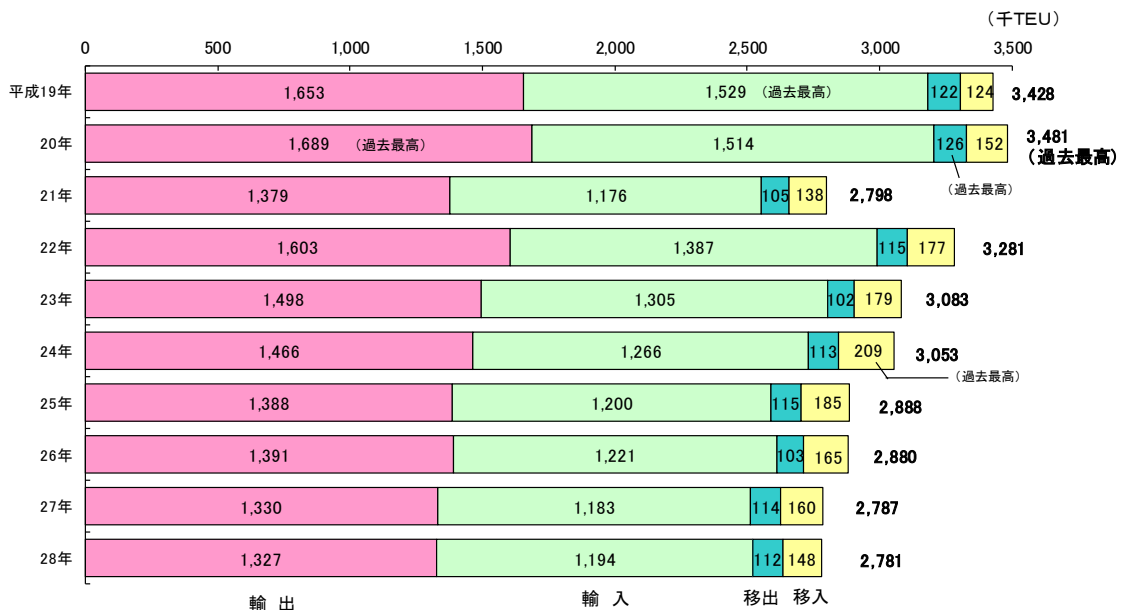


図16 主要港別コンテナ個数

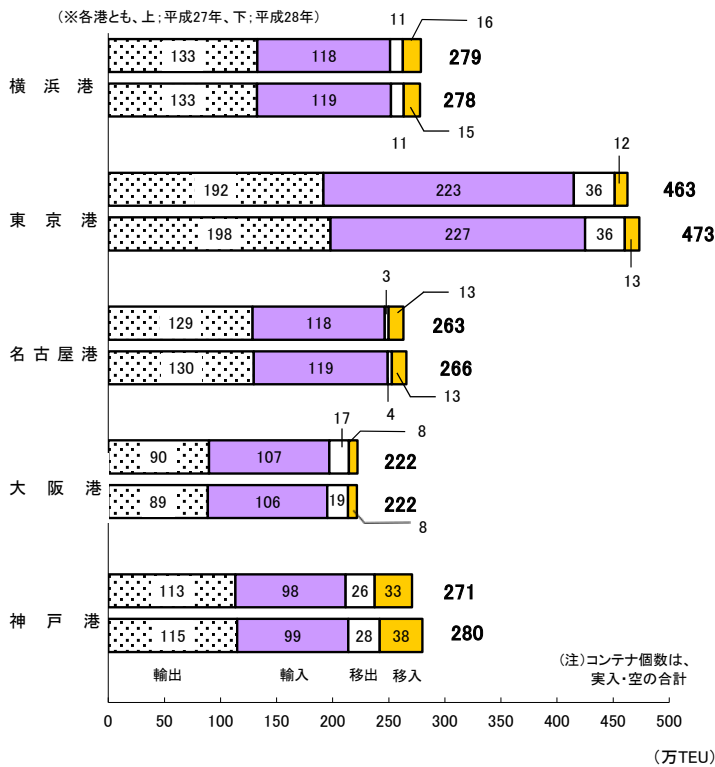
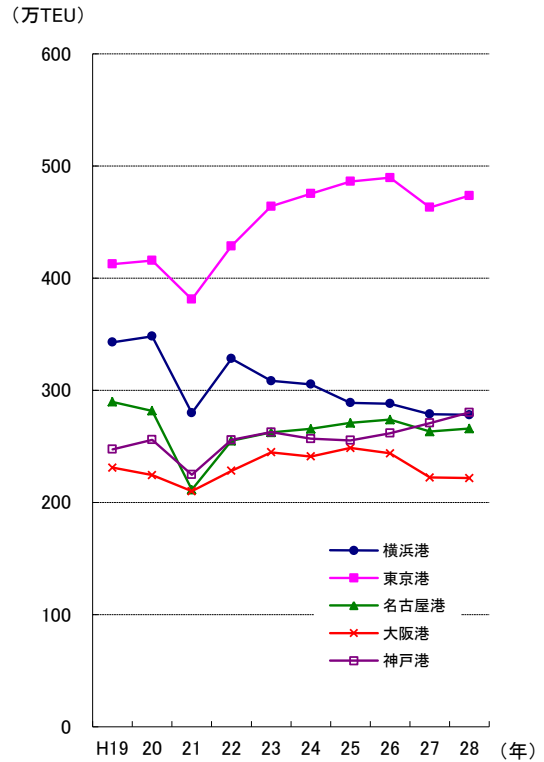


図17 主要港別コンテナ個数の推移



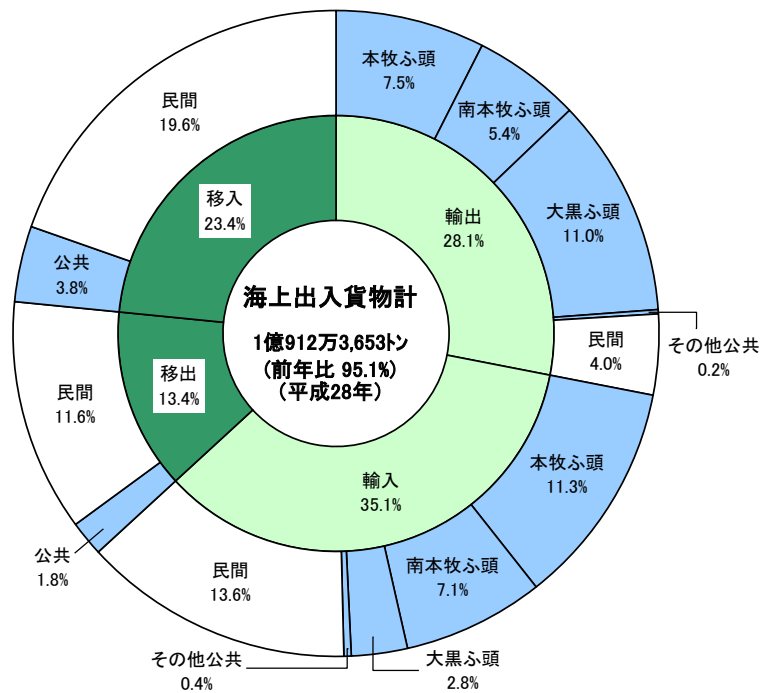
3 施設別取扱貨物量 【P28~30】

総貨物量1億912万トンに占める公共施設の取扱貨物量は5,581万トン(4.6%減、構成比 51.1%)、民間施設は5,331万トン(5.2%減、構成比 48.9%)となりました。

これを、外貿・内貿別に比較すると、外貿貨物は公共施設での取扱量が4,974万トン(2.9%減、構成比 72.2%)で、外貿貨物量の約7割を占めており、取扱第1位は「本牧ふ頭」の2,049万トン(6.6%減、構成比 29.7%)となっています。

一方、内貿貨物は民間施設での取扱量が3,412万トン(3.5%増、構成比 84.9%)で、内貿貨物量の約8割を占めています。

図18 施設別取扱貨物



※ 公共(本牧、南本牧、大黒、その他公共)は、横浜市及び横浜港埠頭株式会社が所有する施設。